

鹿児島産業保健総合支援センターでは、四半期に 1 回、毎月初めに配信しているメールレターの内容などを中心に取りまとめて、本紙により配信しています。

### 鹿児島治療と仕事の両立支援セミナー開催のご案内

\\ ご存じですか？「治療と仕事の両立支援」 \\

**治療と仕事の  
鹿児島 両立支援セミナー 開催** 入場  
無料

**2019.10.29(火)13:30~**  
**ホテルウェルビューかごしま**

お申込みは、下記の URL  
または裏面の用紙に必要  
事項を記入のうえ FAX で



ぜひ行かなくては！  
治療と仕事の両立に  
踏み出すために！



「治療と仕事の両立支援  
ポータルサイト」  
治療 両立

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>



**厚生労働省** **鹿児島労働局**  
鹿児島県地域両立支援推進チーム

© 弘兼憲史／講談社

「治療と仕事の両立支援」とは、病気の治療を行いながら仕事を続けることを支援するための取組です。セミナーでは、「治療と仕事の両立支援」の具体的な進め方や留意すべきポイント、もたらす効果などについて、企業と医療機関の皆さま及び支援を必要とされる患者の皆さまにわかりやすくご紹介いたします。是非ご参加ください。

- 日 時** 令和元年 10 月 29 日(火)13:30~(13:00~受付開始)
- 場 所** ホテルウェルビューかごしま 2 階「潮騒」  
(鹿児島市与次郎 2 丁目 4-25)
- 内 容** 基調講演  
立石 清一郎氏(産業医科大学病院両立支援科准教授)  
企業事例①  
三洋工機株式会社 執行役員システム部長 黒岩 登志一氏  
企業事例②  
株式会社新日本技術コンサルタント 総務部長 児玉 史彦氏  
医療機関事例  
社会医療法人博愛会相良病院 病院長 相良 安昭氏  
パネルディスカッション
- 募集人数** 100 名(入場無料) ※10 月 21 日(月)までにお申し込みください。

#### ▼セミナー案内

<https://kagoshimas.johas.go.jp/wp-content/uploads/2019/09/ryouritsuseminor10.29-reflet-.pdf>

#### ▼FAX 申込

<https://kagoshimas.johas.go.jp/wp-content/uploads/2019/09/ryouritsushieneminor10.29.pdf>

#### ▼ポータルサイト(厚生労働省 HP)より申込

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/symposium/2019/index.html>

## 各種研修会のご案内

## ストレスチェック後の 職場環境改善研修会

定員50名

これからはじめる職場環境改善 ～スタートのための手引～

ストレスチェック集団分析後の職場環境改善について、その手法を解説し、その後グループワークで理解を深めます。「職場環境改善助成金」についても解説します。

1. 受講対象者 鹿児島県内の事業主・管理監督者・衛生管理者・衛生推進者・産業保健スタッフなど
2. 日時・会場 令和元年10月24日(木)13:30～16:15 (13:00受付開始) マリンパレスかごしま(鹿児島市与次郎)
3. 受講料 無料
4. 申込期限 令和元年10月18日(金)まで (先着順、定員に達し次第受付終了)
5. 申込方法 下記FAX参加申込票か右下メールフォームよりお申し込みください。

グループワークは他業種の方と意見交換ができると大変好評です

## 管理監督者向け「心の健康づくり」研修会

定員50名

メンタルヘルス対策の中で、従業員のメンタル不調を早期に発見して改善することは、管理監督者としてとても重要です。今回の研修では、「ラインによるケア(ラインケア)」として、メンタルヘルス対策の重要性、ラインケアの方法等を解説し、相談対応、職場復帰、職場環境改善などについてグループワークで実践的に学習できます。

1. 受講対象者 鹿児島県内の事業主・管理監督者・衛生管理者・衛生推進者・産業保健スタッフなど
2. 日時・会場 令和元年11月18日(月)13:30～16:15 (13:00受付開始) マリンパレスかごしま(鹿児島市与次郎)
3. 受講料 無料
4. 申込期限 令和元年11月11日(月)まで (先着順、定員に達し次第受付終了)
5. 申込方法 下記FAX参加申込票か右下メールフォームよりお申し込みください。

グループワークではハラスメント対策について等、他社の方と取組状況の情報交換ができます

◆こちらの研修会参加時には認印(シャチハタ可)をご持参ください。

## ▼リーフレット・FAX 申込票

<https://kagoshimas.johas.go.jp/shokubakankyoukaizen.pdf>

## ▼ホームページからのお申込み

<https://ssl.formman.com/form/pc/xu9XV3XBUqpfP7uf/>

申込メールフォームQRコード



<https://ssl.formman.com/t/qLRH/>



## 産業保健活動総合支援事業のPR動画について

産業保健総合支援センターの取り組みについて、女優の「のん」さんがご紹介します。



<https://kagoshimas.johas.go.jp>

YouTube からご覧ください。「産業保健総合支援」で検索！

## 産業保健相談員からのメッセージ

### ●「あなどれない口のバイ菌」

産業保健相談員 松下 幸誠（担当分野：産業医学）

口のバイ菌が脳梗塞患者の脳内で発見されたという研究結果が最近、アメリカ心臓協会の雑誌に載りました。脳卒中などの脳血管疾患に関係している可能性もあるといえます。実は、かなり前より血管の病変や心筋梗塞の血栓に、なぜか口のバイ菌が見つかることは知られていました。思っている以上に口のバイ菌は、血液内に簡単に侵入するのかもしれませんが、しかしながら、本来は細菌やウイルスが通過できないはずの脳内に口のバイ菌が存在したことは衝撃的です。さらに、ショッキングな研究結果も続きます。歯周病の極悪原因菌の一つ、「ポルフィロモナス・ジンジバリス菌がアルツハイマー病患者の脳内で確認された」というものです。このバイ菌は、組織を溶かす毒素を出して侵入、歯を支える歯ぐきや骨を壊して歯周病を引き起こします。おそらくは、この毒素を持って脳内に侵入するものと思われます。

さらに、なんとこの研究結果より、毒素を阻害するアルツハイマー病治療薬が開発中とのことです。歯周病が糖尿病と関わることはよく知られていますが、血管の病気や認知症との関係も言われ始めているのをみると口のバイ菌がいかにあなどれないかを思い知らされます。心疾患や血管のリスク因子は、高血圧や高コレステロール、運動不足、糖尿病、喫煙習慣、肥満などですが、様々な研究結果は、定期的に歯科のメンテナンスを受けることも脳卒中などのリスクを低くできる一つの可能性であることを示しています。



### ●「ほうれんそう」と「おひたし」

産業保健相談員 山中 隆夫（担当分野：メンタルヘルス）

ある国立大学の学長は卒業式の式辞で、毎年、必ず、「報告・連絡・相談」の大切さを説いていた。「これさえ諸君が職場で守っておれば、困ることは何もない」というのであった。

ことほど左様に、産業保健の世界では、この数十年、金科玉条の如くに重要視され、説かれてきた言葉だが、実際には「言うは易く、行うは難し」の側面があるのも、また、事実である。

何故なら、職場適応上で心身に異常を来たすのは不適応タイプよりは過剰適応タイプに多いと云われている。いわゆる「気配り抜群、良い人で、いつもニコニコ、お利口さん」な人々である。それ自体は結構なように見えるが、その実、この過剰適応的な行動は必ず自己主張性の低さを伴っている。自分の思うこと、したいことを言い表せないのである。このため、「報・連・相」のなかで最も重要と思われる「相談」、つまりは、困ったときの「助けて！」が云えず、結局は就労継続が困難となる（とりわけ、この傾向の強い行動特



性をタイプC注1)という)。

解決策は「自己主張性を高める」ことに尽きるのだが、ここに来て、自己主張（ほうれんそう）ができるようサポートするビジネスマナーの言葉が SNS から出てきた。「お・ひ・た・し」がそれである。具体的には

- お：怒らない
- ひ：否定しない（だめ出しをしない）
- た：助ける（困り事あれば）
- し：指示する



上司がこれならば、自己主張性の低い部下であっても抵抗なく上司に物申せそうである。部下に「ほうれんそう」、上司に「おひたし」とは言い得て妙、産業保健上の名言となるに違いない。

注1)「タイプC」：自分の感情を隠すという仕方での対処法である。怒りをあらわにすることも、恐れや悲しみを自分で認めることもせず、病状が悪化しているときでも快活さを装う。自分の愛する人を喜ばせ、他人までも喜ばせようと過剰なまでの努力をする。忍耐強く、欲求不満を口に出さない、といった行動特性を有する（心身医学用語辞典より 三輪書店）

## ●「両立支援：鹿児島県の現状、両立支援コーディネーター基礎研修のご案内」

産業保健相談員 堀内 正久（担当分野：産業医学）

2016年2月に厚生労働省から両立支援のガイドライン（事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン）が発表され、2018年4月の診療報酬改定に伴い、「療養・就労両立支援指導料」が悪性疾患に限って認められました。産業保健の本丸ともいえる治療と仕事の両立が、労働者や医療者、また産業保健スタッフに、より強調されてその活動が求められています。保険点数では、がん診療に限っていますが、身体的な慢性疾患を幅広く対象としています。国全体の活動とともに、鹿児島県においても、労働局や産業保健総合支援センターを中心に、活動の推進がなされています。2017年には、各都道府県に、「地域両立支援推進チーム」が作られ、この2019年11月には、両立支援コーディネーター基礎研修が、鹿児島で初めて開催される予定です。支援チームのメンバーは、地域の実状を考慮して、構成メンバーを検討してよいということから、2018年の第2回の会議から、県薬剤師会と県労働安全衛生コンサルタント会が加わっています。両立支援における治療の多くは、薬物治療に関することであり、産業衛生学会のシンポジウムなどでも、両立支援時の困りごととして、薬物療法の副作用に関する情報提供が挙げられており、薬剤師、それも、より対象者の生活や職場に近い薬局薬剤師の活躍に期待するところです。両立支援を進めていく上で、両立支援コーディネーターの養成が求められています。大きな都市を始め、コーディネーターが養成されていますが、病院勤務の医療ソーシャルワーカーや看護師・保健師が職種として多数を占めています。産業衛生学会でも、医療機関や職場以外に、相談できる第3極の「場」の意義が議論されています。鹿児島においては、県薬剤師会や県労働安全衛生コンサルタント会が両立支援推進チームに加わっていることから、それら職種のコーディネーターが多く誕生することが期待されます。いずれにしましても、まずは、マンパワーを増やすということが、大事なことです。興味のある産業保健スタッフの方は、当産保センターHPをご覧ください。9月2日（月）～6日（金）受付の基礎研修受講登録をお願いしたいところです（実際の研修は、11月29日です）。（注）鹿児島市での両立支援コーディネーター基礎研修の受付は終了しました。



独立行政法人労働者健康安全機構 鹿児島産業保健総合支援センター  
〒890-0052 鹿児島市上之園町 25-1 中央ビル4階 TEL099-252-8002 FAX099-252-8003